

は し が き

農林業センサスは、わが国の農林業の生産構造及び就業構造等の実態や農山村地域の実態を把握することを目的として、1950年（昭和25年）から5年ごとに実施しており、今回は15回目の調査に当たります。

この結果書は、農林水産省が令和2年2月1日を調査期日として実施した「2020年農林業センサス農林業経営体調査」における本県分の調査結果を取りまとめたものです。

今回の調査結果においては、農林業経営体数や基幹的農業従事者数（個人経営体）は前回調査（2015年農林業センサス）に比べて減少したものの、法人化している経営体数は前回より増加しています。また、経営規模別階層で見ると、経営耕地面積では20ha以上、農産物の販売金額では1,000万円以上で、農業経営体数が増加しています。

このことから、本県の農林業は、経営体数や基幹的農業従事者数（個人経営体）の減少が続く中でも、法人化や経営規模拡大がみられるところです。

この結果書が、本県の農林業行政関係者のみならず、広く県内の各方面にわたって活用され、本県農林業の振興に役立てば幸いです。

最後に、この調査の実施に当たり御協力いただきました農林業経営体の皆様、また、調査員、指導員、市町村関係者及び農林業関係団体の皆様に、心から感謝の意を表します。

令和4年1月

青森県企画政策部長 東 直樹